

国際交流協定締結計画書

提出部局名 医学部

1. 相手方大学(又は機関等)	<p>名称 (日本語) : フロリダアトランティック大学 (英語又は当該国語) : Florida Atlantic University</p> <p>所在都市名/国名 : ボカラトン/アメリカ合衆国</p> <p>設 立 年 : 1961年</p> <p>設置形態 : <input checked="" type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私 立 <input type="checkbox"/> その他 ()</p> <p>組織・規模 (学部・附属施設, 学生・研究者の数 等) 学部 : 人文学部, 商学部, 教育学部, 理学部, 生体医科学部, 看護学部, 工学・コンピュータ科学部, 建築・都市計画学部, 名誉学部 学位数 : 170以上, キャンパス数 : 7, 外部資金 : 1.12億ドル/年 学生数 : 約27,000人 (大学院生 : 約3,600人) , 教員数 : 約1,600人</p> <p>相手国内における大学 (機関) としての評価 フロリダ州の州立大学11校のうち有力な大学の1つであり, 南フロリダの主要大学である。</p> <p>その他 (特色 等があれば記入)</p>
2. 協定内容	<p>希望する協定の種類</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 大学間協定 (関係部局 : 総合科学部) (関係部局 : 医学部) (関係部局 : 工学部) ()</p> <p><input type="checkbox"/> その他 覚書 等 () ()</p> <p>交流分野 総合科学, 医学, 保健学, 工学</p> <p>交流内容</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 教員・研究者の交流 <input checked="" type="checkbox"/> 学生の交流 (授業料等の徴収 : <input type="checkbox"/> 有 , <input checked="" type="checkbox"/> 無) <input checked="" type="checkbox"/> 共同研究の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 学術情報 及び 資料の交換 <input type="checkbox"/> その他 () ()</p>
3. 期待される成果	<p>米国の大学との教員・学生のほぼ対等な相互の受入・派遣による交流をこれまで達成している。これを持続・発展させることにより, 共同研究による成果や教育の国際化が益々期待できる。特に近年は先方の学部生の半年から1年間の受入が増加しており, 本学在学生の国際的視野拡大への効果も期待できる。</p>

4. これまでの経緯（交流実績等）	<p>1989年以来活発に交流し、1995年3月に大学間交流協定を締結し、1998年3月、2001年3月、2004年3月に協定を更新した。これまでに次の交流実績がある。</p> <p>教員の派遣：3か月以上 3名，3か月未満 31名・延べ55回 教員の受入：3か月以上 1名，3か月未満 25名・延べ38回 事務職員の派遣：3か月未満 8回 学生の派遣：3か月以上 15名，3か月未満 33名・延べ35回 学生の受入：3か月以上 9名，3か月未満 2名 共著書：1冊，書籍の一部共同執筆：1冊，共著審査論文：51編，共著総説：3編，学会共同発表：64件</p> <p>詳細は http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/DAV/person/S10727/FAU/ 参照</p>
5. これまでの相手方大学（機関等）との協定締結書の有無	<p><input type="checkbox"/> 新規（※ 部局間協定の「格上げ」を含む。）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 更新（継続）： 締結年月 1995 年 3 月</p> <p><input type="checkbox"/> 過去の実績が有（中断の復活） ： 締結年月 年 月</p>
6. 新協定締結迄のスケジュール（締結希望の時期）	<p>これまでの協定期限（2009年3月27日）までに更新の調印を行うことができなかったが、できるだけ早く協定更新の調印を行い、2009年3月27日にさかのぼって適用するという取扱いを希望する。</p>
7. 実施の責任組織体制（コーディネータ及び構成メンバー）	<p>（部局名：総合科学部，コーディネータ 氏名： 石川 榮作 ） （部局名：医学部，コーディネータ 氏名：◎長篠 博文 ） （部局名：工学部，コーディネータ 氏名： 橋爪 正樹 ） （※ ご記名のコーディネータのうち「代表者」に，◎を付してください。）</p>
8. 相手方の対応組織（担当教員名等）	<p>国際プログラム室 室長 Catherine S.Meschievitz</p>
9. 向こう5年間の交流計画（資金計画を含む）	<p>・本学ヘルスバイオサイエンス研究部，ソシオテクノサイエンス研究部とFAU工学・コンピュータ理工学部，理学部，生体医科学部等の共同研究の推進 ・学部生の交換留学・短期訪問研修，大学院生の研究員としての受入・派遣 ・本学大学院先端技術科学教育部のダブルディグリープログラムにおけるFAU工学・コンピュータ理工学部との協力 ・国際交流資金，学長裁量経費，外部資金を活用する</p>
10. その他特記事項	
11. この計画書に添付する資料の名称	

※ 記入にあたっては、別記の「留意事項」にご注意願います。

(別 記)

【 留 意 事 項 】

1. この計画書は、本学の複数の部局と相手方の（学部等に相当する部局ではなく）大学等とが締結する「大学間協定」に係る様式で、教育研究評議会の席上資料の原稿となるものです。
2. 「5.」欄 ※印の「部局間協定の格上げ」とは、「現在、部局間協定であるものを、大学間協定に移行する」場合をいう。
この場合、通常は「現行の部局間協定」は、廃棄される。また、従前の「（学生交流に関する）覚書」等は、「大学間協定書に附随する覚書」として新たに締結し、従前の内容を引き継ぐことが一般的な措置となります。
これに関して、原協定・覚書の内容等を確認するため、現行の協定書等のコピーを提出してください。
3. 「7.」欄 ※印の「コーディネータの中で代表者」の方には、先方機関との連絡用務の外、学内部局間の調整用務と事務担当部署（国際課や学部等事務）との調整用務をお願いすることとなります。
4. コーディネータが協定の期間内に、定年等により退職することが見込まれる場合は、後継者として次のコーディネータに就任する予定者の氏名も記入すること。
5. この申請書に基づき、事務担当部署〔研究国際部国際課（新蔵事務室；内線 6221）〕が資料内容を調整し「国際連携推進室」、「役員会」、「教育研究評議会」の審議を経ることとなりますので、協定締結希望月日の3ヶ月前迄に、本申請書を上記担当へ提出してください。